

平成27年度 胎内市音楽部 活動報告

部長 松本 圭

1 研究主題

音楽の専門的な知識や技術、指導力の向上を目指して～楽しい音楽活動の工夫～

2 研究の概要

(1) 第1回部会 「活動計画立案」 会場 きのと小学校 16:00～ 参加者5人

(2) 第2回部会 「実践報告会」 会場 きのと小学校 10:00～ 参加者5人

① 研修 「音楽部の運営について」

② 概略

- ・各校の音楽部の活動の取組について情報交換
- ・卒業式・合唱コンクール等行事における音楽部の役割について 等

(3) 第3回部会 「授業研究会」 (二市北蒲中教研音楽部授業研究と合同で実施)

会場 中条中学校 14:00～ 参加者3人

② 授業者 安田 有希 (中条中学校)

② 指導者 齋藤 隆 (新潟市濁川中学校)

③ 題材名 「アンサンブルの楽しみ」

教材「Let it go」(リコーダー二重奏)

④ ねらい

○グループで曲にふさわしい音楽表現を考え、演奏することができる。

⑤ 協議会の記録

- ・生徒一人一人がとても意欲的でグループ活動の取り組み方も素晴らしい。
- ・演奏しやすく楽譜に書き込む等の作業がしやすい学習形態を工夫したい。長机や譜面台の利用等。
- ・DVDを視聴させ、視覚から表現の工夫につなげたのは効果があったのではないか。
- ・生徒が「このように表現したい」とイメージしたものと実際の演奏にギャップが出てしまう。実際の表現につなげるためには、演奏技術が必要になる。リコーダーは、演奏の工夫が難しい楽器である。表現の工夫をねらうのであれば歌唱表現の方が取り組みやすい。
- ・本時で練習する部分が長すぎたか。もっと絞ってもよかったのではないか。リコーダーに苦手意識がある生徒が多い実態からすればもう少し易しい曲でもよかったのではないか。
- ・小学校の段階から共通事項を意識した学習の積み重ねが大切。リコーダーに苦手意識を持たせないためには小学校でバロック式のソプラノリコーダーを使わせたい。
- ・生徒の思考の流れや課題意識を大事にしたい。「やらされる音楽」は音楽嫌いを生む。生徒の願いは「表現の工夫をしたい」ではなく「前半部分が吹けるようになりたい」だったのではないか。
- ・グループ学習は、どこで何のためにかかわらせるかを考えて取り入れる。



3 成果と課題

(1) 成果

- ・第2回の研修は各校の音楽部の活動や取組の工夫を情報交換することができるよい機会となった。
- ・第3回の研修は二市北蒲の中学校の先生方と一緒に研修することができ、より専門的な意見をたくさん聞くことができた。小中連携にかかわる意見交換の場としてもよい研修となった。

(2) 課題

- ・小中学校の両方のニーズに対応した研修内容の充実を図る。

- ・ 部員数が5名と少なく研修体制を維持するのが難しかった。